

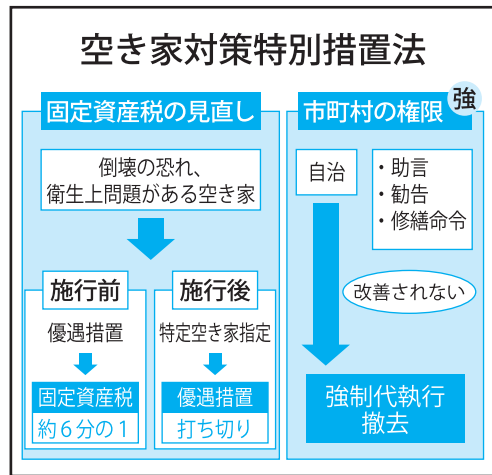
# 定住化促進について



谷崎利浩

**谷崎** 4月から新設される「まちづくり課」では総合的な都市計画まで担うのか。病院や学校、施設が出来た後に取り付け道路の問題が出てくるようでは困る。

**高木総務課長** 総合的な都市計画等は、市の総合計画にも関連しますので、全庁的な協議のもと、進めることとなります。大規模な施設建設の計画・構想があれば、当然取り付け道路や周辺整備等の協議も必要であり、担当課だけでなく交通や道路関係も含め、懸念される課題について関係各課で協議し対応を行います。  
**谷崎** 近年、美咲野が話題になるが他地域へ流出しないよう魅力ある街づくりをしないとイケない。阿蘇駅北側の今回YMC Aが購入する土地周辺は定住化するのによい場所だが、道路を一本通すだけで、若い世代が住みやすく阿蘇に残るにふさわしい地域になるかどうか。  
**吉良観光まちづくり課長** YMC



**谷崎** 左記の図を見ると空き家対策特別措置法の成否は「特定空家等の指定」ができるかどうかだが。  
**総務課長** 法施行に伴い、それに適応した条例整備が先ず必要となります。特定空家等の指定については地域の意見も聞きながら有識者等で構成する協議会で審議します。そこで指定された場合、指導・助言・勧告・命令が可能となります。

Aができるところは非常に条件が整っております。下水道・国道・JR・病院・学校等インフラがトップレベルです。問題は個人土地ですので採算ラインに乗るのかということです。また、YMC A周辺の旧道拡幅とかについては、この事を最近聞いたばかりですので、これから調査をしていきます。

# 医療センター期待と不安



河崎徳雄

**河崎** 医療収益の計画の差異、23年改訂の阿蘇中央病院改革プランでは、26年度計画で15億円、本年最終補正予算額は、12億8千万円で2億2千万円の落ち込み。結果的に、前年度繰越欠損金5億6千万円に続き本年度も7億2千万円の医療損失が見込まれ、その補填の一部として繰入金、借入金等を受けている。この様な状況で、27年度医療収益23億の計画は大丈夫か。又、経営責任は事業管理者が負われるのか。  
**井野医療センター事務局長** 新年度から常勤医も九名体制で、信頼される病院として職員一丸となり経営健全化に努めてまいります。

**就農給付金と農業者年金について**  
**河崎** 年齢45歳未満に給付される、青年就農給付金の制度を更に啓発推進し、若い農業者の育成と、定住者の促進を。  
**本山農政課長** 26年度までの3年



農業者年金パンフレット

間で、23名給付致しました。今後も県・JAなど関係機関と連携を深め、対象者を、もれなく把握すると共に制度を活用しながら多くの、親元就農や市外からの新規就農者の受け入れを促進し、農業の振興はもとより人口増加にも努めます。  
**河崎** 農業者の老後、生活への保障となる農業者年金だが加入状況と促進は。  
**田口農業委員会事務局長** 年金受給者は855名です。そのうち新制度は60名です。26年度の新規加入者は5名です。JA、農業委員会と一緒に更に加入促進を計ります。

# 灯油購入助成制度の創設



竹原 祐一

**竹原** 国の交付金事業として、低所得者むけの灯油助成制度、是非とも、阿蘇市に於いても実施を考えています。

**宮崎財政課長** 阿蘇市として、検討した結果、火山活動が活発化し、経済的損失が懸念されている状況でありますので消費喚起を目的として、プレミアム商品券に一本化致しました。

**竹原** 一昨年は全国の318自治体が実施をしている。この阿蘇市も寒冷地である。又、年金削減・介護保険料の値上げ。国民健康保険料の値上げ、社会保障最悪の中、今年の冬に向け灯油の助成制度、実施の考えは。

**山口福祉課長** 検討する中では、住民にとって本当に有意義な施策となりうるものか、色々な角度から議論を重ねたいと思います。ただ、この制度そのものが、経済情勢の悪化を背景として、原油高による生活の

圧迫で制度が創設された経緯のものでございますので、今後そういった経済情勢の変化等に依って、生活を圧迫するような原油高騰が生じれば検討について、前向きに考えたいと思います。

**竹原** 灯油・原油が高騰した時には実施を考えるのか。

**福祉課長** 原油高騰等の社会情勢が生じ市民生活を圧迫するような恐れが考えられる場合に、財政事情も勘案しながら検討したいと思えます。

他に「子供の歯科診療・新規農業従事者支援制度の充実について」質問がありました。



老人施設の風景

# 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について



園田 浩文

**園田** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についての市長の見解は。

**佐藤市長** 商工観光、農業、畜産あるいは林業や福祉の分野など、分野ごとに取り組んでしまうと、いざ野も中途半端に終わってしまう可能性があります。横断的に阿蘇市の課題を深く掘り下げ、方針を固めるべきであり、例えば森林整備は補助金制度等を上手く使いながら進めることにより、新たな雇用が生まれ地域の活性化にも繋がります。もうひとつは福祉の分野だと思います。福祉に携わる若者にとって、より働きやすく終身雇用も可能となるよう国レベルで考えていただくことにより、地方にも大きな活力が湧いてくるのではないのでしょうか。

**園田** 国は27年度の1年間で、「地方版総合戦略」を作成する努力を課しているが。

**宮崎財政課長** 昨年10月1日に市長を本部長とする推進本部を立ち上

げており、素案作りの策定委員会を立ち上げたいと考えております。

**園田** 策定委員会のメンバーは、**財政課長** 市民の代表や各種団体の長、議会の方々等を考えております。

**園田** 阿蘇市内の企業の現状は。**吉良観光まちづくり課長** 従業員

数でいいますと、1161社が50人未満、51人から100人までが25社、100人以上が19社となっています。

**園田** 若者の人口流出に少しでも歯止めが出来るように、行政もしっかりと取り組んでもらいたい。

**和田総務部長** 仕事の確保が一番だと思っております。本年度策定します「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の政策も活用し、若者の雇用の確保に努めたいと考えています。

## 16園統合小学校について

**園田** 新築工事の進捗状況は。

**日田教育課長** 現在の進捗状況は校舎が全体の14・5%、体育館が全体の20%となっています。

**園田** 今後の内牧・山田・阿蘇西・尾ヶ石東部の統合計画は。

**教育課長** 24年度の災害、教育基金や国の補助金の状況を見ながら検討いたします。

他に、「LED化に向けた市の取り組みについて」の質問がありました。

# 阿蘇中岳噴火状況について



田中 弘子

**田中** 降灰による子供たちへの対応は。

**日田教育課長** 現状の状態が続くことを危惧しています。これからのシーズン阿蘇市の方向に降る火山灰が気がかりです。桜島の火山灰、又高森町の対応について聞き取り調査した中で、マスク、又多いときには傘が有効であるとのこと。阿蘇市では小学生用は株式会社「セス」からいただいたマスクを学校に配布し、中学生は大人用のマスクを市費で購入し配布予定です。

**田中** 健康被害については。

**教育課長** 鹿児島市の教育委員会に問い合わせをしましたが、小・中学生については平成23年から900回以上の火山性微動、噴火も繰り返しています。健康被害はないとのことでした。

**田中** 牧草・米等の被害については。  
**本山農政課長** 牧草については平成2年の調査の中で、少量の火山灰

付着では、牛には影響は無いとのことですが、今後状況を見ながら対策を講じていきたいと思えます。また水稲については色々な調査、意見を聞いた中で影響が少ないとの事ですが、収穫による機械の修理等が心配されますので、今後の被害状況に応じて県・農協等と専門的な部分を相談しながら対処していきたいと思えます。

**田中** 観光については。

**吉良観光まちづくり課長** 春の行楽シーズンになり少しはお客さんが戻って来たような状況と思えます。御嶽山の影響で風評被害的なものが多かったと思えます。阿蘇市内の宿泊施設が九州未来アワードのインバウンド観光部門の大賞を受賞したことは大変おめでたいことです。スマートホン、キャッシュレス化カード等の整備が今後の方向性ではないかと思えます。充実させて行こうと思っております。



中岳の噴煙

# 移動販売車の導入策について



岩下 礼治

**岩下** 阿蘇市での買い物難民は1500人と推計、生活困窮者自立支援法に照らし市が前面に出るべき、参入業者の掘り起こし等、早急な検討をされたい。

**吉良観光まちづくり課長** 移動販売車については別途調べてまいります。

**岩下** 菊陽町社協とイオンが提携し宅配を始めた。先手先手での対応を。

**佐藤市長** 他地域の状況も見ながら行政として何が出来るのか方向性を探していきたいと思えます。

## 医療センターの初診対応と治療体制の充実

**岩下** 事例①風邪でも「予約は？」と聞かれ、「2時間待ち」と言われたので他の病院へ、丁寧な対応を。

**井野医療センター事務局長** 説明不足で患者様に誤解を与えた部分も

あり、申し訳なく思っています。かなり改善してはいますが、さらに努力したいと思えます。

**岩下** 事例②救急搬送されたにも関わらず治療に1時間も要した。事例③私自身、救急搬送で検査の結果は狭心症、熊大に転院したが医療センターの体制では不可能、医師を30人程度に増やすよう方針変更を。

**医療センター事務局長** 病院の設立目的が急性期の患者様の救命、後遺症の抑制であり、二次救急医療機関としてスタッフの拡充は勿論であります。

## 温泉券の配布

**岩下** 温泉券は好評であるが萩の里温泉の指定経緯は。  
**山口福祉課長** 交通の利便性を考慮、また地区の意見を参考にしました。

**岩下** 波野の北部地域は産山が近いし検討してもらいたい。

**福祉課長** 市独自の施策のため市内の施設利用をお願いしたいところですが、要望が多いのであれば、先方の施設とも協議を重ね検討していきたいと思えます。

他に、「図書館の民間委託について」質問がありました。